

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

学校園が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

現在、全国的に高齢化が進んでいることに加え特に中山間地域においては、日常生活やコミュニティの維持が問題となっており、奈良市東部に位置する都祁中学校区（都祁地域）においても、ここ数年来、前述の課題が顕在化してきたことから、これらの解決に向け、日々の教育活動を地域からの協力・支援を得ながら進めてきました。

中学校が地域と関わり交流し連携・協働する取組として、「数学講座」「英検対策講座」「雅楽鑑賞」「エイサー学習」「世界遺産学習」「防災学習」「共同美化作業」を行っています。

「世界遺産学習」では、地域ボランティアのご指導を受け、奈良公園での散策をしながら、自分たちの郷土に誇りをもつことにつながりました。「防災学習」では、地域防災の視点から

「防災マニュアル」改訂に関わるなど、万一の災害発生時に備えること大切さについて学ぶことができました。



共同美化作業



防災学習(リモート版)

共同美化作業では、校内外の美化に多くの地域の方が協力をしてくださいました。

【今年度のまとめ】

今年度も感染症対策を十分にとった中での教育活動となり、協議会活動にもさまざまな制限が設けられることとなりました。そのような状況下においても、コーディネーターや委員の方々を中心として、地域の方々からのご協力を得て各事業をすすめることができました。

また中学校区内のこども園・小学校・中学校とも機会を精選しつつも効率的に連携・交流を深めることができ、学びの連続性を踏まえた教育活動を行うことができました。

学校環境整備事業において「共同美化作業」を実施しました。草刈り作業や校内の補修に多くの地域の方にご協力をいただき、昨年度よりも校内美化に努めることができました。

【来年度に向けて】

さまざまな配慮や対策を講じながらの活動となっていますが、地域の方のご支援のおかげで活動が再開されてきました。子どもたちの有意義な地域生活を送っていくために、今後もご支援をお願いいたします。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに**たくましく未来を切り拓く 都祁の子**

取組目標

中学校が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

1. 防災教育への取組

「生きる力」を育むことを目的とし、防災教育の一環として、地震・火災を想定した避難訓練を実施しました。地域在住の防災士の方よりご指導をいただき具体的に「命を守る行動」として何ができるかを考え日々、万一の災害発生時に備えること大切さについて学ぶことができました。



防災学習→

2. 学力向上に向けた取組

地域在住の元学校教員の方を講師に招いて「学力補充教室」を開催しました。

「数学」の学力向上を目的として、教員4名とともにチームティーチングや少人数指導によるきめ細やかな学習指導により、基礎学力向上を図りました。



学力補充(数学)



エイサー

2シーズン目となる「英検対策講座」を実施しました。校区内の高校と協働し、放課後に学習会を実施。学習する意欲の高まりがみられました。

地域に関わっていただいている方に自分の思うように書を楽しむ「己書体験幸座」を実施しています。



英検対策講座

3. 伝統・文化理解教育への取組

「保健体育」カリキュラムや「総合的な学習の時間」における伝統文化理解の取組として、エイサー学習(沖縄民謡・舞踊)を行いました。

【今年度のまとめ】

地域の方々のご協力・ご支援をいただきながら、子どもたちの学習意欲の向上につなげることができた。体験的な活動をもとに生きた学力をつけていくことができました。

【来年度に向けて】

来年度においても、さまざまな配慮や対策を十分に講じながら、事業を精査・精選し、効率的・効果的に推進していきたいと考えます。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域へのフィールドワークや地域の方々からの聞き取り、体験学習など、地域や地域の方々に学ぶ機会をできるだけ多く設定する。

【今年度の取組紹介】

○森の学校

午前は6年生の計画のもと、学校から県立野外活動センターまで歩いて行き、縦割り班活動を行いました。班の取組は様々でしたが、道中の川に仕掛けを入れておいて生き物を採る班や途中の三陵墓古墳で遊ぶ班もあるなど、日ごろ見ることのない地域の景色や自然にも触れました。



午後は地域の方を講師に招いて、自然の物を使った工作や味噌づくり、センター内の自然の写真撮影といった体験学習を学年ごとに行いました。地域の方から生活の知恵や工夫、技術を直接学ぶことができました。

○蚕の学習

総合「なら」科の学習で3年生が蚕の学習をしました。

「大和高原文化の会」の方々から蚕について教えていただき、実際に蚕に触る体験や桑の葉を食べさせる体験もしました。しばらく学校に置いていただいた蚕がまゆになっていく様子も観察しました。



このまゆからとった生糸でマスコットづくりにも取り組みました。この学習で子どもたちは、講師の方の子どもの頃の話のを伺い、都祁地域で養蚕が盛んだったことや昔の暮らしについて学びました。

【今年度のまとめ】

コロナの影響で活動が中止になることが多かったこの2年間に比べると、今年は地域の方々に関わる機会を多く持つことができました。そして、その関わりを通して、子どもたちは、地域の自然や歴史、文化等の良さや自分の生活との関わり、地域の方々の思いを知ることができました。

【来年度に向けて】

今年度の取組を振り返って評価・検証し、新しい視点や活動を取り入れつつも、これまでと変わらず都祁地域全体を学びのフィールドにした取組を来年度も行っていきたいと思ひます。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域とのつながりを感じながら、心豊かで、生き生きと生活する
子どもの育成

【今年度の取組紹介】

○〈サツマイモの収穫・焼き芋パーティー〉

春、畑の先生に教えてもらいながらサツマイモの苗植えをしました。水やりや草ひき等をし、生長を楽しみにし、大切に育てました。収穫当日は畑の先生に掘り方を教えていただき、長いツルを思いきり引っ張り、スコップや手で土を掘っていきました。「見てー大きいおいも」「ちっちゃいのあった」と自分で収穫したことに大喜びでした。後日、焼き芋パーティーをしました。畑の先生はもみ殻、子ども達が拾い集めた落ち葉や枝に煙突を立て焼き芋の準備をしてくださいました。子ども達は前日からイモを洗い、当日は濡れたキッチンペーパー、アルミホイルでサツマイモを包み、「おいしくなあれ」ともみ殻の焚火の中に入れていきました。焼けたもみ殻のにおいの漂う園庭で焼き芋を畑の先生と一緒にいただきました。「いいにおい」「あまくておいしい」「みんなで食べたらおいしい」と笑顔がこぼれていました。地域の方と触れ合う楽しい経験を通して親しみをもち、自分から関わったり「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたりする姿が増えてきています。



○〈おはなしのひろば〉『つげおはなしの会』の方に毎月1回、子ども達へ絵本などの読み聞かせ



をしていただいています。「今日はどんなお話かな」と楽しみにし、お話に聞き入っています。たくさんの絵本やお話に出会い、ワクワクしたりドキドキしたり感動したりするなど様々な感情体験が子ども達の心を育んでいます。

【今年度のまとめ】

地域の方々とともに菜園活動やおはなしのひろば、剣道体験や生け花体験など園だけでは経験できない様々な経験、感動体験ができました。地域の方と一緒に活動をし、褒めてもらったり「一緒に活動できて楽しいね」「ありがとう」と温かい言葉をかけてもらったりすることが喜びや楽しみになり、「心豊かで、生き生きと生活する子どもの育成」に繋がっています。

【来年度に向けて】

地域の方々の協力をいただきながら、地域の方と繋がりを感じ、「心豊かで生き生きとたくましく活動する子ども」を目指して、地域・園・家庭が一体となり取り組んでいけるよう、相互の連携を深め、様々な感動体験ができるよう取り組んでいきたいと思ひます。